【操作方法】

* 空気中の水分量を測定する方法は、乾湿球温度計によるものと、温湿度計によるもの、2種類のシートを準備しました。お手持ちの測定器にあわせて選んでください。
* シートの操作方法は、A～Cに、

**乾湿計**を使う場合は　　**温度**、**湿球温度**、**希望の茶温**を

**温湿度計**を使う場合は、**温度**、**湿度**、　　**希望の茶温**を

それぞれ入れると**基準熱風温度**がDに表示されます。

* 設定した茶温にならないときは、適宜風量や熱風温度等の調整をお願いします。

【参考】

* シートにおける茶温の設定値は、一番茶、35℃位、二番茶36℃位

を目安に調整してください。湿度が高いときは、所要時間が長くなります。

* 計算結果が100℃を超える場合もありますが、

表示は実用範囲の100℃を上限としています。

* 粗揉工程の後半の温度は、基準熱風温度より５℃程度

低く設定してください

* 計算シートは、スマートフォンなどで操作しやすいよう、

入力セル以外を保護してあります（スマホ版エクセル等で使えます）。

* 吸気乾湿球温度や温湿度は、火炉の吸気口付近で測りますが、

難しい場合は、他の箇所で代用してください。

　　2022年　山城南農業改良普及センター